

令和元年度  
(2019年度)

# 上下水道事業部の運営方針

## <部の構成>

上下水道計画課、浄水課、上水道工務課、上水道保全課、汚水整備課、雨水整備課、下水道施設維持課

## <担当事務>

- (1) 局の総合計画及びその調整に関すること。
- (2) 水道及び下水道の整備に関すること。
- (3) 局の工事の検査及び審査に関すること。
- (4) 局の危機管理に関すること。

## <部の職員数>H31年4月1日現在

正職員	132名
再任用職員	23名
任期付職員	-名
非常勤職員	3名
合計	158名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

## 1. 基本方針

上下水道局では、市民生活に欠かせない、安全でおいしい水道水を安定供給するための水道事業と、水環境の保全、大雨などによる浸水被害から市民生活を守る下水道事業に取り組み、市民にとって安全・安心で快適な暮らしにつながる施策・事業を実施しています。

上下水道事業部では、水道事業において、平成30年度に策定した枚方市水道施設整備基本計画に基づき、中宮浄水場や鷹塚山配水場の更新、津田低区配水場の耐震化事業を進めるとともに、老朽化した水道管の更新・改良・耐震化事業の推進と併せて鉛製給水管の解消に努めます。

下水道事業では、現行の下水道事業経営計画を見直し、今後の老朽化対策などを重点的に進めるための、下水道整備基本計画の策定に向けた取り組みを進めます。また、公共下水道汚水整備において住居系地域の未承諾・整備困難地区などの整備と、枚方東部企業団地の整備に向けた実施設計に取り組むとともに、下水道長寿命化計画に基づく予防保全型の計画的な改築更新を進めていきます。雨水整備では、雨水貯留施設やポンプ場などの整備を引き続き進めます。

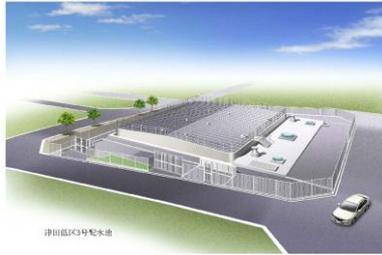
## 2. 重点施策・事業

### (1) 中宮浄水場更新事業

方向性	持続可能な水道を実現するための重点施策として、新たに建設する浄水場からの給水を令和7年度(2025年度)から開始することを目途に中宮浄水場の更新事業を進めます。
取り組み	DBO方式による事業者選定に向けて、総合評価一般競争入札に必要な要求水準書などの資料作成に取り組みます。 平成31年度当初予算：1億3975万円

### (2) 水道施設等の更新・耐震化事業

方向性	水道水を安定的に供給するため、水道施設・管路の更新及び耐震化を効率的・効果的に取り組みます。
-----	--

取り組み	<p>平成 30 年度に策定した枚方市水道施設整備基本計画に基づき、水道施設については、鷹塚山配水場更新工事、津田低区配水場 3 号池整備工事に引き続き取り組みます。また、水道管路については、更新及び耐震化事業を進めるとともに、鉛製給水管の取替えを行います。</p> <p>《目標値》</p> <p>耐震性能を有する水道管路の割合 24.2%（参考平成 29 年度 23.9%）</p>	<p>＜津田低区配水場 3 号池イメージ図＞</p> 
	平成 31 年度当初予算：35 億 330 万円	

（３）公共下水道污水整備事業	
方向性	<p>河川や水路、ため池などの水質汚濁防止を図り、安全で良好な生活環境が確保されたまちをめざすため、公共下水道の整備を進めます。また、工場等事業所系の污水整備については、事業者の整備意向等を踏まえながら、効率的・効果的な手法で水循環の保全を図ります。</p>
取り組み	<p>住居系地域の污水整備については、昨年度に引き続いて中部及び東部地域を中心に整備を進めるとともに、未承諾地区や整備困難地区の解消に取り組みます。また、工場等事業所系の污水整備については、枚方東部企業団地の整備に向けて実施設計に着手します。</p> <p>《目標値》</p> <p>整備人口普及率 97.1%（参考：平成 29 年度 96.6%）</p>
	平成 31 年度当初予算：9 億 9641 万円

（４）下水道施設の老朽化対策について	
方向性	<p>市民生活の安全確保を図るため、予防保全型を重視した計画的な下水道施設の改築・更新を推進し、下水道施設の長寿命化と維持管理に係るライフサイクルコストの最小化を図ります。</p>
取り組み	<p>平成 28 年度に策定した汚水管渠及びポンプ場遠方監視設備の下水道長寿命化計画に基づき、昨年度に引き続いて改築工事に取り組みます。また、平成 30 年度に策定した枚方市下水道ストックマネジメント計画に基づき、北部ポンプ場等の受変電設備改修工事实施設計委託を行います。</p>
	平成 31 年度当初予算：4 億 2920 万円

（５）浸水対策について	
方向性	<p>近年の計画降雨を上回る集中豪雨対策として、下水道浸水被害軽減総合計画に基づき、楠葉排水区において雨水貯留施設の整備を進めるとともに、下水道事業計画に基づき雨水管渠や雨水ポンプ場の整備を進め、浸水被害の軽減に取り組みます。</p>

取り組み	<p>楠葉排水区については令和2年度（2020年度）の工事完了をめざし、雨水貯留施設の整備を進めます。また、新安居川ポンプ場の排水能力向上に向けた整備や雨水管渠等の整備を進めます。</p>
	<p>&lt;シールドマシン（楠葉雨水貯留管）&gt;      &lt;新安居川ポンプ場の施工状況&gt;</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
	<p>平成31年度当初予算：29億8445万6千円</p>

### 3. 行政改革・業務改善

#### ◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
31. 水道施設の計画的な整備・更新	平成30年度に策定した枚方市水道施設整備基本計画に基づき、水道施設・管路の更新及び耐震化に取り組みます。また、中宮浄水場の更新については、効率的・効果的な施設の更新・運用を図る観点から、民間活力の活用としてPPP（DBO）方式を採用し、令和7年度（2025年度）の給水開始をめざします。
32. 下水道施設の長寿命化	平成30年度に策定した枚方市下水道ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設全体を一体的に捉えた計画的な点検・調査及び改築・修繕を進めます。
45-8. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（上水道施設維持管理業務）	漏水修繕業務については、直営との役割分担を踏まえつつ、繁忙期における漏水修繕工事の一部を民間事業者に発注します。 また、経験の浅い技能労務職員の技術習得状況を確認しながら、水道事業における「技能労務職のあり方」を検証し技能労務職員の適正な配置を行います。
45-9. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（下水道施設維持管理業務）	浸水災害対応時のポンプ場の運転管理を基本に職員を配置していますが、遠方監視設備の更新による運転状況を踏まえた中で、市民サービスの向上につながるよう引き続き見直しを検討します。

#### ◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
工事発注等に係る事務処理の改善	既存のチェックシートを更新して活用することにより、業務の効率化を進めるとともに、部内に設置している「上下水道事業部設計積算適正化検討部会」にて、定期的に設計積算ミス防止に係る

	対策や研修の実施、情報交換等を行い、事務処理の正確性を確保します。
危機管理体制の充実	昨年度に発生した大阪北部地震等の自然災害への対応を基に、上下水道局の危機管理マニュアルの改訂を行います。また、台風による大雨や地震などの自然災害、漏水事故等による断水に備え、速やかに対応できるように、定期的な訓練を実施します。

#### 4. 予算編成・執行

- ◆水道事業、下水道事業ともに、整備事業に国費を活用しながら、経費削減にも努めます。また、平成 30 年度に策定した水道施設整備基本計画と下水道ストックマネジメント計画に基づいた効率的かつ効果的な施設の更新・耐震化を行っていきます。

#### 5. 組織運営・人材育成

- ◆老朽化した水道及び下水道施設について、事故等を未然に防ぐ予防保全型の維持管理や、計画的な改築・更新を図るために、効率的・効果的な組織運営に努めます。
- ◆水道・下水道事業を将来にわたり安定して継続するためには、企業経営と事業戦略の両面からの取り組みが不可欠であることから、情報の共有化を促進するなど、上下水道局内の連携強化を図ります。
- ◆水道・下水道事業が、お客さまの信頼の上に成り立っていることを、全職員が再認識し、服務規律の確保を徹底していくため、人権尊重を含めたコンプライアンスの浸透・定着に向けた取り組みを継続的に行っていきます。
- ◆水道・下水道の将来を担うエキスパート職員を長期的視点で育成するとともに、部内のジョブローテーションや専門研修等を活用し、職員の資質や能力の向上に努めます。

#### 6. 広報・情報発信

- ◆水環境教育における浄水場見学の推進  
枚方市立小学校に対し、水環境教育の一環として、生活に必要不可欠な水道水がどのように作られているかを学習してもらうため、浄水場の見学を推進しています。
- ◆下水道事業の見える化  
市民の皆様が安心し、より身近に感じてもらえるよう、浸水対策事業等についてホームページやリーフレット等の活用により、下水道事業の見える化を進めます。また、ホームページによる工事の進捗状況のお知らせや現場見学会を実施するなどの情報発信を行います。

